

# 行田特別支援学校の活性化・特色化方針

(令和3年度～)

## 1 学校基本情報

種別	知的障害	学部・学科	小・中・高等部	児童生徒数	(男)163 (女)69	計 232																		
ホームページ	<a href="https://gyoda-sh.spec.ed.jp/">https://gyoda-sh.spec.ed.jp/</a>																							
アクセス	<p>&lt; J R 高崎線 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹上駅下車 朝日バス：佐間回り行田折り返し場行 または、総合教育センター行 または、工業団地行</li> </ul> <p>産業道路下車 徒歩 15 分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行田駅下車 市内循環バス：南大通り線コース 工業団地行 警察署前下車 徒歩 5 分</li> </ul> <p>&lt; 秩 父 線 &gt; 行田市駅下車 徒歩 40 分</p>																							
教育課程等の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画（プラン A・B）に基づき、合理的配慮のもとに取り組む教育</li> <li>・卒業後の社会生活を見据えた、複数の教育課程による高等部の教育</li> <li>・交流及び共同学習をとおして、地域の子どもたちの相互理解に努める。</li> </ul>																							
特色ある学校行事や部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の小・中・高等学校との交流学习の実施</li> <li>・公共施設等での作品展示や高等部作業班の製品販売</li> </ul>																							
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開の実施（年 2 回）</li> <li>・学区域連絡協議会の開催（年 2 回）</li> <li>・保護者自由参観の実施（毎学期）</li> <li>・事業所フェアの実施（夏季休業中）</li> <li>・PTA 主催夏まつり、クリスマス会の開催</li> </ul>																							
進路について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の能力・適性に応じた柔軟な進路指導を行い、本人・保護者が納得した望ましい進路実現を目指す（一般就労・福祉事業所・グループホーム他）。</li> <li>・「産業現場等における実習」をとおして、一人ひとりに設定した目標を達成することにより、自己の適性や能力をより確かなものに発展させることで、卒業後の進路を具現化することを目指す。</li> <li>・卒業後も 3 年間の追指導（アフターケアの実施）。</li> <li>・就労支援アドバイザーや進路指導サポーターとして、障害者就労における専門家を招聘し、より実践的な研修・指導を実施。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">卒業生数</th> <th style="width: 15%;">進 学</th> <th style="width: 15%;">企業就労</th> <th style="width: 15%;">福祉的就労</th> <th style="width: 15%;">その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学部</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>高等部</td> <td>34</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>21</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学部 1 名が熊谷農業高等学校へ、25 名が本校高等部へ進学。</li> <li>・主な企業就労先 （株）すかいらーくホールディングス、（株）ベルク、（福）羽生福祉会くわの実 （株）アイセン 他</li> </ul>							卒業生数	進 学	企業就労	福祉的就労	その他	中学部	26	26	0	0	0	高等部	34	1	10	21	2
	卒業生数	進 学	企業就労	福祉的就労	その他																			
中学部	26	26	0	0	0																			
高等部	34	1	10	21	2																			

( 児童生徒数：R2.5.1 現在、進路は R2.3 卒業生の実績 )

# 県立行田特別支援学校 ～児童生徒の成長物語～

## 本校の 特色

自閉症などの障害特性を踏まえ、わかりやすく見通しの持てる指導・支援に努めます。  
わかる授業づくりで自信を持たせ、学習に取り組む意欲を育てます。



## 学校行事

地域も応援、全校で  
取り組む学校行事  
運動会  
スマイルまつり  
保護者が応援  
PTA主催夏まつり、  
クリスマス会

## 現場実習

働く厳しさを知り、  
充実感を体験します。  
一般企業での  
現場実習  
福祉事業所での  
現場実習

## 高等部

一人一人の力を伸ばす3つ  
の教育課程

発展型

充実型

基礎型

社会生活職業生活に必要な知識、技能を身に付けます。  
よりよい社会生活が過ごせるよう、  
余暇を利用する力を身に付けます。

## 中学部

小学部で身に付けた力をさらに伸ばし、自己肯定感を育みながら、クラスや学年での自分の役割に責任をもって取り組む意欲や態度を身に付けます。  
高等部での学習につなげ、実社会への興味関心のきっかけとなるよう作業学習に取り組み始めます。

地域との連携、センター的機能

就学前の教育相談、巡回相談の実施  
学区域連絡協議会の開催  
公共施設等での作業製品展示・販売  
事業所フェアの開催  
学校公開講座、研修会の開催  
ボランティア養成講座開講

## 交流及び共同学習

通常学級支援籍の取組  
行田市立東小学校、  
行田市立埼玉中学校、  
行田市立行田中学校、  
誠和福祉高等学校との  
交流

## 小学部

生活や学習の基礎となる、大人との信頼関係、基本的な生活習慣、身辺自立に必要なスキルを身に付けます。  
体験活動をとおして、社会性の芽生え、規範意識の基礎を身に付けます。

## 個に応じた支援・指導

保護者と合理的配慮について合意形成を図り、個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成。  
アセスメントを活用した実態の把握。  
わかる・できる授業づくり。  
外部専門家の活用  
(臨床発達心理士、言語聴覚士など)

行田特別支援学校は、水と緑と人が育む学校